

新型コロナウイルス感染拡大で、群馬県内の病院ではウイルスに感染した方の入院が増加しています。また、院内感染や医療従事者の感染・濃厚接触者認定などで、コロナ感染以外の病気の方々に提供できる入院ベッドが減少しています。このような状況下において、当院は地域の中核病院としてコロナ感染者はもとより、一刻の猶予もない救急患者さんの診療を率先して行う使命があります。そのため、軽症患者さんの診療制限を行い、より重症な患者さんのためにベッド確保する必要性が生じてきました。軽症の方や、先に延ばしても病状が悪化しない予定手術の方には入院の延期をお願いすることがあります。どうかこの苦渋の決断にご理解いただきご協力をよろしくお願いいたします。

高崎総合医療センター

院長 小川 哲史